

各 位

会 社 名 セーラー広告株式会社
 代表者名 代表取締役社長 村上義憲
 (JASDAQ・コード 2156)
 問合せ先
 役職氏名 執行役員総務本部長 青木 均
 電 話 087-825-1156

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

【平成 24 年 3 月期 連結業績予想の修正】

○ 第 2 四半期（累計）（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4, 308	14	19	△1	—
今回修正 (B)	3, 840	△25	△8	△20	△3.44
増減額 (B-A)	△468	△39	△27	△19	—
増 減 率	△10.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	4, 184	17	31	36	6.23

○ 修正理由

当第 2 四半期連結会計期間の当社グループ商勢圏におきましては、震災の影響緩和に伴い小売業や宿泊・飲食業の売上が増加し、個人消費におきましても弱いながら持ち直しの動きを見せ、景気は緩やかな回復基調となりました。このような状況のなか、当社グループにおきましても、当第 1 四半期に見られた震災による広告自粛傾向は幾分和らぎ、建築業や小売業からの広告出稿も徐々に増え始めました。また、顧客第一主義のもと積極的な提案活動に取り組んだ結果、これら業種からの印刷物の受注に加え、地域振興イベントの企画運営業務を受注し、さらに、地元官公庁から雇用対策事業として地域活性化事業等を受託しました。また、広告需要の緩やかな回復とともに粗利率も改善し、当第 2 四半期連結会計期間におきましては、営業利益および経常利益ともに利益を確保できる見込みです。

しかしながら、当第 1 四半期の震災等による広告自粛の影響が予想以上に大きく、当第 2 四半期連結累計期間におきましては、売上高は 3,840 百万円となる見込みです。利益面におきましても第 1 四半期の業況が影響し、25 百万円の営業損失、8 百万円の経常損失、20 百万円の四半期純損失となる見込みです。

第 3 四半期以降における当社グループを取り巻く環境につきましては、長引く円高や世界経済の減速によって企業収益の悪化が懸念され、広告需要も徐々に回復しているとはいえ、依然として不透明な状況にあります。下期におきましては、小売業等の年末年始を中心とした販売セールスや集客イベント等による広告需要の高まりに加え、地元官公庁から受託している雇用対策事業の売上を見込んでいることもあり、現時点におきましては、平成 23 年 5 月 13 日に公表した平成 24 年 3 月期通期の連結業績予想を据え置いています。当社グループにおきましては、どのような状況にあっても顧客を第一とするきめ細かな提案活動を積極的に展開することにより変わりはなく、グループ全拠点一丸となって通期業績予想の達成に取り組んでいく所存です。

○ その他投資者が会社情報を適切に理解・判断するために必要な事項

上記業績予想は、当社グループが現在入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上